



「冬休みに読んでほしい本」第2弾をお届けします。(有→蔵書あり)

冬休みの貸し出しが始まっています。図書は5冊、雑誌は2冊まで借りられます。3年生はこれが最後の貸し出しになりますので、ぜひ借りに来てください。

## 「青春ブタ野郎シリーズ」

(既刊11巻)

鴨志田一 著  
KADOKAWA



私がオススメする本は、「青春ブタ野郎シリーズ」です。なぜなら、私が好きなのはもちろん、あまり小説を読むのが好きではない人でも、読み始めればどんどん読み進められてしまうほど面白いからです。

梓川咲太(あずまがわさくた)が同じ高校の先輩、桜島麻衣(さくらじままい)に図書館で出会うのですが、彼女はなぜかバニーガール姿。しかも咲太以外の図書館の利用客には彼女の姿や声が認識できない……というSFとラブストーリーをミックスしたようなとても不思議な物語です。

この本を読んで、あなたも不思議な体験をしてみませんか？

(パンネム 野生のカードバトラー)

## 『こちら、幸福安心委員会です。』(全7巻)

うたたP 原作  
鳥居羊 著  
PHP研究所



私が冬休みに読んでほしい本は、『こちら、幸福安心委員会です。』という本です。

この物語は、かなり中毒性のあるボカロ曲「こちら、幸福安心委員会です。」(鳥居羊 作詞/うたたP 作曲)のノベライズなのですが、「幸福なのは義務なんです」などの歌詞が小説にも使われており、原作曲に沿ったストーリーになっています。

楽しめる内容になっているので、ぜひ読んでほしいと思います。

(パンネム NOA\_00)

## 『聲の形』(全7巻)

大今良時 著  
講談社



『聲の形』は、聴覚障害者に対するいじめを扱っていることなどから、2011年に最初の作品が『別冊少年マガジン』に、2013年にリメイクされた作品が『週刊少年マガジン』に掲載されるなど、物議をかもした漫画である。

小学生だった石田将也(いしだしょうや)のクラスに転入してきた西宮硝子(にしみやしょうこ)は、聴覚障害を持って上手く言葉を聞き取ったり会話をする事ができない。やがて、将也を中心にクラスでのいじめが始まり、学級会が開かれる騒ぎにまで発展する。そこでクラスメイトたちは将也に責任をなすり付け、今度は将也がいじめの対象になってしまう。その後硝子の転校により疎遠になってしまう2人だが、高校生になって再会する。将也は硝子に謝罪し、そこから2人の新しい関係が築かれていく――。

図書館には映画の小説版があるので、気になった方はぜひ読んでみてください。

(パンネム アノス)

## 月間多読賞(11月)

3年1組 A・Yさん (9冊)

3年2組 M・Tさん (4冊)

月間多読賞【げっかん たどく しょう】1ヶ月間に本校図書館から本を4冊以上借りた人に贈られる賞。図書館・図書委員会による共催。今年度新設された。

特典①図書館だよりへの名前(イニシャル)の掲載。

特典②記念品(葉型賞状)の進呈。

\*皆様のチャレンジお待ちしております\*